第22回一般社団法人熊本県放射線技師会学術大会

謹啓

　時下、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。 さて、このたび『第２２回熊本県放射線技師会学術大会』を下記要項にて集合型で開催します。

今回は、①一般演題　②学術セミナー　③シンポジウム　④学術委員会特別企画という内容になっております。シンポジウムでは『国際学会へ挑戦しよう！-2023 RSNA 参加者から学ぶ研究の進め方-』と題しまして3名の方にご発表を頂きます。また、学術委員会特別企画では『災害時に診療放射線技師は何ができるのか-熊本地震から8年を迎えて-』とし、2名の方にご講演をいただきます。災害は時と場所を選ばず、いつやってくるか分かりません。備えあれば憂いなし、必ず皆様のお役にたてる内容だと思います。会場で皆様とお会いできるのを楽しみにしておりますのでご参加をお待ちしています。

謹白

記

日時：2024年8月31日（土）

会場：国立病院機構熊本医療センター　２階　研修ホール

13：00 受付開始

総合司会：中戸　研吾（熊本県放射線技師会学術委員会　学術委員長）

13：30

開会挨拶：西小野　昭人（熊本県放射線技師会　会長）

13：35

表彰：日本診療放射線技師会地区功労章授賞式

洞田貫　誠志　様

齊藤　忍　様

13：45

〇一般演題発表

座長：野田　誠一郎（熊本県放射線技師会　学術理事）

1.『収集モード及び体厚による骨密度の変化』

朝日野総合病院　井口　奈津美

2.『当院の MRI 装置におけるリスクマネージメントについて』

熊本リハビリテーション病院　松谷　憲一

3.『MAMMOMAT B.brilliant の使用経験』

くまもと森都総合病院　工藤　優花

14：15

〇学術セミナー

『CT スキャンにおける SilverBeam Filter の有用性』

座長：山下　裕輔（熊本地域医療センター）

講師：米須　大樹（済生会熊本病院）

14：45 休憩（10 分間）

14：55

〇シンポジウム

『国際学会へ挑戦しよう！-2023 RSNA 参加者から学ぶ研究の進め方-』

座長：丸野　達也（熊本県放射線技師会学術委員会　学術委員）

・『Coronary Artery Calcium Quantification with Super Resolution Deep-learning Reconstruction Algorithm: An Anthropomorphic Phantom Study』

重松　真介（熊本大学病院）

・『Non-invasive Liver Fibrosis Assessments with CT-based Iodine-uptake Parameters and Hepatosplenic Volumetric Indices』

吉田　健一郎（山鹿市民医療センター）

・『Performance of Dual-Layer Spectral Detector CT in Identifying Early Ischemic Changes in Acute Ischemic Stroke Patients』

本田　恵一（熊本中央病院）

・ディスカッション

16：05 休憩（10 分間）

16：15

〇学術委員会特別企画

『災害時に診療放射線技師は何ができるのか-熊本地震から 8 年を迎えて-』

座長：西小野　昭人（熊本県放射線技師会　会長）

・『災害時に医療機関として何をすべきか』

下之坊　俊明（熊本大学病院）

・『令和 6 年能登半島地震災害派遣活動報告

～赤十字職員としての災害派遣と放射線技師としての平時の備え～』

岩崎　雄太（熊本赤十字病院）

・ディスカッション

17：35

閉会挨拶：緒方　隆昭（熊本県放射線技師会　副会長）